

2014年7月23日 第二回開局準備委員会議事録

会議名称： 第二回（仮）みんなのコミュニティFM放送局開局準備委員会
会 場： タスパークホテル3F アゼリア
時 間： 15:00～16:30
出席者： 21名 （別添 出席者名簿参照）

【議事内容】

1. 開会 司会：Jan 黒澤

2. 横澤委員長挨拶

本日は、何かと御多忙のところ、第2回「みんなのコミュニティFM放送」開局準備委員会へ御出席賜り、誠にありがとうございます。

4月30日に本委員会が発足してから3ヶ月が過ぎましたが、この間、開局に向けた申請手続きやスタジオの発注など、ソフト面・ハード面とも着々準備が進められているとのことを伺っております。

また、放送番組の充実に向けた6人の委員による「番組審議会」が設置されるとともに、番組編成の中核となるディレクターとして、新進気鋭の若手社員が採用されるなど、体制も整備されつつあるようです。

さて、先日の集中豪雨では、南陽市を中心に多くの被害が発生し、今さらながら災害の怖さを感じさせられたところでもあります。幸いにも、人命にかかわる被害がなかったとはいえ、災害を最小限にするための情報提供のあり方や避難所情報をはじめとした、地域住民の不安を減らすコミュニティFM放送への期待が高まったものと思われまます。

本日の委員会においては、第1回準備委員会以降の進捗状況報告とともに、放送局の愛称名の決定、番組構成等に関する重要事項を御審議いただくことになっております。

このうち、放送局の愛称名は、放送局のシンボルとなるものであることから、市民から愛され親しまれる名称にさせていただくことが必要でありますし、番組構成は、多くの市民から関心を寄せていただくための極めて大きな要素になるものであることから、皆様から忌憚のない御意見を頂戴したいと存じます。

さらに、運営を円滑に行うための財源確保も大きな課題であることから、多くの市民、企業、団体など幅広い支援体制を築くことが必要であります。

そのためにも、より多くの市民に聴いていただける、愛されるラジオ局となるようにすることが求められますので、積極的な御意見を賜りますようお願い申し上げます。

「みんなで作り、みんなが聴くラジオ」を目指し、11月開局に向けた特段の御協力を改めてお願い申し上げます、挨拶にいたします。

3. 報告および協議内容

- (1) 座長は、申請状況及び進捗について市企画調整課に報告を求めた。市企画調整課の谷澤課長は、「長井市コミュニティFM事業の進捗について」に沿って、具体的且つ詳細に内容を報告した。

(長井市コミュニティFM事業の進捗参照)

- (2) 座長は、第一回会議時の質問に対する報告について事務局に報告を求めた。事務局のJan 木村は、「第2回(仮称)みんなのコミュニティFM開局準備委員会資料」に沿って、前回未回答であった収支について具体的且つ詳細に内容を報告した。

(第2回(仮称)みんなのコミュニティFM開局準備委員会資料参照)

▼商工会議所 塚田専務 様

- ①: 収支では次年度の行政からの予算編成が少ないように感じるが、今年度と次年度の対比はどうか。次年度が標準なのか、今年度が標準なのか。

⇒回答 Jan 木村

- ①: 今年度は長井市単独でスタートという収入になっているが、次年度からは近隣の市町村が参加していただけるという想定で収支を組んでいる。そのため按分すると対比に違いが出てくることになる。

- (3) 座長は、公募あった放送局名(愛称)の決定について事務局に報告及び説明を求めた。事務局のJan 高石は、「第2回(仮称)みんなのコミュニティFM開局準備委員会資料」と「愛称募集参考資料」に沿って、具体的且つ詳細に内容を説明した後、6つの愛称候補から全委員による投票を経て、得票数のもっとも多いものを愛称とする提案が出される。座長がこれを議場に諮ったところ全委員が承認、投票へ移る。

[投票者数] 16名

[投票結果] おらんだラジオ: 7票、すまいるラジオ: 4票

フラワーウェーブ: 2票、おしょうしなラジオ: 2票

どうもっすラジオ: 1票、みんなのラジオ: 0票

投票の結果「エフエムい〜じゃん おらんだラジオ」に決定。

(第2回(仮称)みんなのコミュニティFM開局準備委員会資料参照)

(愛称募集関係資料参照)

- (4) 座長は、番組構成について事務局に説明を求めた。事務局のJan 高石は、「第2回(仮称)みんなのコミュニティFM開局準備委員会資料」に沿って、具体的且つ詳細に内容を説明するとともに、放送料については、委員はじめ市内の様々な方からの協力が必要であるお願いした。

あわせて、今後のスケジュールについて説明した。

(第2回(仮称)みんなのコミュニティFM開局準備委員会資料参照)

- (5) 座長は、これまでの協議事項について総括して意見を交換することを議場に諮り、委員からは次のような意見を頂戴した。

【その他意見交換について】

▼商工会議所 塚田専務 様

①：今現在で何名ぐらいのパーソナリティを想定しているのか？

⇒回答 Jan 黒澤社長

①：当初は朝昼夕の生番組を予定しており6名のパーソナリティで構成する番組を計画していたが、プロのパーソナリティは既に他局で番組を持っている方が多く、スケジュール的に非常に難しいとのお話をいただいた。そのため開局時は朝と昼の生番組主体となる。将来的には6時間の生放送ができるようにしていきたい。現段階でプロといわれるパーソナリティは1名の確定にとどまっている。おらんだラジオは地域のみんなでつくるラジオをコンセプトにしている。一般のパーソナリティ候補（多数）をプロの指導のもと育てていただきながら、増やしていくという手順で考えている。また、申し上げにくいところではあるがプロの方はコスト面で厳しい、低コストの運営で広く愛されるラジオ局になるように進めていきたい。

▼長井警察署 奥山署長 様

①：番組作成について、先日管内で振り込み詐欺にかかわる通報が多数寄せられた。

実際には南陽署管内で検挙されたが、そのような場合に少しでも被害者を減らすため、リアルタイム情報などを流すことや、警察から直接スタジオへ情報を提供できるようなことも考えていただきたい。計画的な情報だけではなく、緊急を要する情報についてご検討いただきたい。

⇒回答 Jan 黒澤社長

①：今後、長井警察署はじめ消防署など、行政との契約にかかわる取り決め事項を、市と明確にしていくところ。情報をいち早く伝えるということを忘れないで進めていく。

▼長井市・西置賜歯科医師会 長岡 様

①：実際にラジオを聴いている人はどのぐらいいるのか。

②：ラジオの無い世帯へはどのような形で普及させていくのか（補助や懸賞はあるか）

③：サポーター制度の目標数については、開局までの目標なのか

⇒回答 ①②Jan 黒澤社長、③Jan 木村

①：ラジオの視聴率というものは機械的にとることができない。業界で常に話題になる部分である。世代によって聴く年代は様々だが、多くの方がラジオにかかわることで、視聴率も上がってくるものとする。それらラジオを聴く習慣づくりを広げたい。

②：普及についてはカーラジオや、インターネット、スマートフォンでも聴くことができることや、他市町村で進めている「防災ラジオ」の普及などと一緒に進めていきたい。

③：サポーター数については、開局までがベストと考えているができるだけ早い段階で目標数に到達できるように考えている。

▼長井市・西置賜郡医師会 桑島 様

- ①：放送局運営委員会はどのように組織するのか
- ②：番組表はどのような形で配布するのか
- ③：委員本人もラジオへのなじみが薄かったが、東日本大震災の停電時には一日中ラジオを聴いていた。
- ④：現在、山形県の医師会でもラジオ番組を提供し、朝と昼の健康番組へ年に数回出演している。（自分自身は聴けないが）それらを聴いているのが、在宅率の高い主婦層が何かの合間（ながら視聴）に聴いているようだ。聴く習慣のない人たちにラジオを聴いてもらえるようなアイデアをみんなで話し合ったり、聴いている人たちの傾向を参考にしながらラジオを聴く習慣を広げていければと感じた。

⇒回答 ①②Jan 黒澤社長

- ①：この開局準備委員会が開局後に放送局運営委員会へ切り替わる形で了承を得ている。
- ②：番組表について、単日のものは山形新聞等のラジオ放送欄に他局と共に掲載されるように考えている。また、紙媒体については番組改編や特番毎に作成し、インターネットでも閲覧できるように考えている。様々なツールを使ってお知らせしていきたい。
- ③④：常に聴く習慣がなければ、いざという時に役に立たなくなると考える。その習慣づくりが大きなポイントだと思っている。そのためにも企業様で休憩時間等にラジオを流していただくことや、銀行や街中の人の集まる場所で時間帯を決めて流していただくような多くのアイデアを取り入れていきたい。あわせて、身近な方々が出演し声を聴かせていただけることで、より聴く習慣が広がっていくと考える。

▼置賜地域地場産業振興センター 平 部長 様

- ①：近隣の市町村で、緊急時に割り込み放送のような形で情報が入るラジオを配っているような話を聞いたが（南陽市）、長井市では考えているのか。全戸とは言わないが配ることができれば、ラジオを聴く人が増えると思う。膨大なコストがかかるわけだが…。

⇒回答 Jan 黒澤社長

- ① 防災ラジオと呼ばれるものをメーカーでテストしているのを見る限り、その機能に関心し、災害時には役立つものと感じた。しかし、個々に購入できるものではないようで単品での値段は不明。ある程度の数量がそろえば、1台あたり8,000円ぐらいで購入できるような話だった。行政では防災ラジオ配置や購入補助などに関する明確な話が出ていないが、今後予算との兼ね合いで動きがあるのではないかと感じている。個人的に「防災ラジオ」は非常にいいものだと思う。

▼まちづくりNPO 高橋 理事 様

- ①：個人的にFMラジオ局が好きで山形ラジオ局を視聴しようとしたが、十日町周辺は長井病院やタクシー会社の無線等の影響なのか、ほとんど聴くことができない。今回のラジオ局は視聴可能なのか。

⇒回答 Jan 黒澤社長

- ①：FM波は超短波のため、聴きにくい波長であることは事実です。計測数字上ではあるが長井市内では、8~9割の地域をカバーできていることになっている。しかし、場所によっては様々な電波が干渉する場所もあり視聴可能地域であっても感度が落ちる場合がある。例としてコンクリートの建物内や、山間部などの電波の届きにくい不感地帯があ

ります。それらをどのように対応していくかも、重要な課題の一つです。ですがあくまで計測数字上のため、実際に流してみないとわからない部分もある。公設民営で進めていくため対応の難しさもあるが、インターネットやスマートフォンなどの普及により、ラジオ機器以外でも視聴できる機能を活用すれば改善できると考えている。それ以上は行政の対応がなければ進めることは難しい。参考までにシミュレーションにおける受信可能戸数は長井市で9割、飯豊町で6割、白鷹町では3割強。いずれは基地局を設けていただき受信可能地域を広げていく計画で進と考えている。

▼西置賜行政組合 平 消防長 様

①: 街中でラジオを流すことは可能か。長井駅前や中央十字路など、商店街を含め3カ所ぐらいでラジオが流れるような同報系のような優先設備で流すことは可能か。

⇒回答 本町大通り商店街組合 梅津 組合長 様

①: 昔使っていた商店街の放送設備は、老朽化のため廃棄処分した。一部、騒音ということでの苦情もあった。(赤ちゃんや年配のいる家庭) 今後は、現在整備が進んでいる街路事業における、街路灯完成時にFM放送を活用できないかということについては、今後検討する。

▼長井商工会議所 塚田 専務 様

①: ラジオを聴く習慣がないとの話があったわけだが、時間帯におけるターゲットを考えると、朝は通勤時の車、昼は主婦層が自宅で、夕方効果的なのはスーパーなどの人の集まる場所でタイムリーな情報を流せば非常に効果的。そのような働きかけができればもっと聴く習慣が高まる。

⇒回答 Jan 黒澤社長

①: 現状で朝と昼のみで計画している番組を、今後は当初の計画通り夕方も流せるようにしていきたい。それぞれの時間帯、各ターゲットに向けた放送を本来はやりたかった。今のお話を改めて参考にさせていただき、夕方の放送へつなげていきたい。スポンサーにも直結する部分なので是非取り入れていきたい。尚、タイムサービスについては生番組でなくても組み込んでいくことが可能、時間帯とターゲット、これらのポイントをしっかりと抑え進めていこうと考えている。

▼国際ソロプチミスト長井 岩井 会長 様

①: 防災ラジオを配れないかとの質問がありましたが、独居老人世帯へ様々な情報を発信できるラジオがあればいいと思う。

②: 番組製作費用は別途とあるが、開局記念ということで特別セールのような料金にできないか。半額などで広く集めることが可能と思う。

⇒回答 Jan 黒澤社長

①: 行政との話し合いで可能な限り対応できればと考える。

②: あくまで定価ということで記載している。現在様々な方向性を考え、皆様のご希望に添えるようと考えている。

▼長井商工会議所 塚田 専務 様

①: 消防署の火災情報などをいち早く知りたいと興味を持っている人は多いが、それらの情報の取り上げはどうなっているか。

②：移動情報局のようなものを考えているのか。

⇒回答 西置賜行政組合 平 消防長 様

①：災害情報（1級情報）のため、すぐに発信すべき情報は連携取りながら進めていければと考えている。

⇒参考 Jan 黒澤社長

①：米沢では火災があった時には、刻々と変わる情報をリアルタイムで伝えていた。非常に活用できるものだと感じた。今後は連携を取りながら進めていきたい。

②：やはり災害情報といえども、警察や消防署の許可なく一方的に流せないと考える。提供をいただいて発信するといった形で進めていく。予算があれば、緊急時の割り込み放送などを行う方法も可能となる。これらについても今後検討が必要。

▼長井市・西置賜歯科医師会 長岡 様

①：本会で様々な意見が出され、消防署からもあったように防災情報を第一にということもあり、長井市が予算を組み後押しをしていることは理解している。しかし、失礼な言い方になるが、これまでも長井市は企画倒れのイメージがあるので、この準備委員会や今後の運営委員会の強い要望として受け止めてほしい。長井市にはこのFMラジオ局が有効に活用されるために支援をお願いする。先程の独居老人世帯への対応なども積極的をお願いしたい。

⇒回答 市（前）防災担当 遠藤課長（現）市教育委員会

①：現担当者が代理出席のため、2年前まで担当していた経緯で回答。議会等で災害対策の議案が出され質問があった時に、市長はそのつど必ずと言っていいほどコミュニティFMがいか有効かを議員へ話されている。市長自身は電源が切れていても自動的に災害情報を流すラジオにいち早く注目し、コミュニティFMをなんとか開局したいと言っていた。そういったラジオを配るといったことについては、一気に全員へというのは不可能と考える。例えば地区長や隣組長へ配ること、あるいは、購入金額の半分を市で負担するような取り組みをしていかなければならないといった考えは、市長を始め議員、職員も思っていると私は認識している。また、独居世帯などの緊急行動が難しい方については、避難勧告などが出された場合に避難準備情報をだして、一般の方よりも早く行動できるような対応をする場合は非常に有効的と考える。どういうふうにお金を投入意するか順序はあると思うが、市長自身が災害に非常に有効なものとして認識している。今後、どういった手順でどうするかはわかりかねるが、対応していくものと私は認識している。今日のこの場で出された意見が、委員会としての意見としていただいたことが、今後の予算獲得など議会のほうへ説明する際、市長の強い後押しとなり頑張れるのではないかと私自身思っている。（代理の石塚係長へ）

⇒補足 市総務課 石塚 係長 様

①：今日のこの会議内で委員の皆様から頂いたご意見をすべて、持ち帰り報告する。内部のほうでも以前から、ラジオの配備についてあがっていたが予算の関係上、様々な調整が必要とされる。今後も動きがあればご報告いただきたい。

▼西置賜行政組合 平 消防長 様

①：東北通信局へ周波数が77.7という、とてもいい周波数だが希望できるものだったの

か。それとも偶然なのか

⇒回答 Jan 黒澤社長

①: 事前に電波調査を実施し近隣では空いている周波数だったため、第一希望として申請した。第二希望は88.8とした(国の考えとしては70の範囲内に収めたい意向)。福島に同じ周波数が存在するが、出力が20wのもので干渉するものではない。既に使われているNCVのものなどは当然使用できない。

▼置賜地区地場産業センター 那須 事務局長 様

①: これまでの話はすべて聴けるという前提での話だが、今回の水害のように不感地帯にこそ、それらの情報が必要と思う。開局にあたり聴けない地域があるという情報もしっかりと伝えていかなければと思う。みんなが聴けると変な誤解を招かないように、放送が始まったらそういった情報を伝えることも必要と感じた。対応をお願いしたい。

⇒回答 Jan 黒澤社長

①: 常日頃より心がけてはいるが、全体に行き渡っているかという点決してそうではないともいえる。今後もしっかりと進めていこうと考えている。

座長: 数々の具体的な意見、提案がだされ有意義な会議であったと感じる。正式な放送局名も決まり開局に向けて、市当局、関連団体も含めて今後も協力をお願いしたい。(締)

4. その他 特になし

5. 閉会 司会者が、16時30分をもって閉会を宣し解散した。

以上

[議事録参照資料]

- 出席者名簿
- 長井市コミュニティFM事業進捗について
- 第2回(仮)みんなのコミュニティFM開局準備委員会
- 愛称募集参考資料